



よみきかせボランティアのための

おすすめえほん

2017-2018
冬号

小学1・2年に
おすすめ

『くまのビーディーくん』

ドン=フリーマン/作 松岡享子/訳 偕成社(約7分)



ビーディーくんは、セイヤーくんという男の子がもっているおもちゃのクマです。ある冬の日、クマが洞穴にすむ動物だと知ったビーディーくんは、自分の住処となる洞穴を探し出かけます。ところが洞穴は暗くて寒くて、ゴツゴツしていても全然眠れません。洞穴で楽しく暮らすためビーディーくんは、枕や懐中電灯や新聞を家から運び込みますが…。モノクロの絵が素朴で印象的な絵本。



子どもに読み聞かせをする人のための
参考資料⑪

『絵本論』 瀬田貞二/著 福音館書店

雑誌掲載のエッセイや単行本から、子どもにとってのあるべき絵本について語った著者の論の集大成。出版30年を超えた今でも古びない絵本の本質が、読みやすい言葉で語られている。

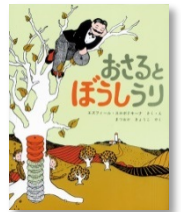


『おさとぼうしうり』

エズフィール・スロボドキーナ/作・絵 まつおかきょうこ/訳 福音館書店(約8分)

小学3・4年に
おすすめ

あるところに帽子を頭の上のせて売り歩く行商人がいました。帽子が全然売れなかったある日、大きな木の下でひと眠りして目を覚ますと、頭の上に帽子がありません。木の上を見上げると、たくさんのサルたちが帽子をかぶっています。さあ、帽子売りは、帽子を取り返すことができるのでしょうか。ストーリーも絵もユーモラスな一冊。



小学5・6年に
おすすめ

『ちいさいおうち』

バージニア・リー・バートン/ぶんとうえい いしいももこ/やく 岩波書店(約14分)

田舎の静かなところに建っていた小さいおうちをめぐる時間の流れを描いた絵本。小さいおうちは、移り変わる季節の景色をながめて、長い間幸せに暮らしていました。ところが、車が走りはじめ、家が立ち並び、田舎は町になってしまいます。小さいおうちには住む人もいなくなり、そのうちビルの谷間に埋もれて、しょんぼりしてしまいますが…。



県立図書館では、学校などでの読み聞かせの方法について、「よみきかせ相談会」を実施しています。

子ども室カウンターでも、ご質問などをお伺いしています。



発行：福井県立図書館子ども室
(2017.12発行)

〒918-8113 福井市下馬町 51-11
Tel. 0776-33-8860

福井県 図書館

検索